



《将来に向けた取組方針》

地球環境の維持・保全が当社が目指す「豊かで明るい長寿社会の実現」に必要な不可欠であるという考えのもと、地球環境に対する具体的な活動方針として『スマセイ環境方針』を定めている。『スマセイ環境方針』は、主に「事業活動を通じた地球環境保護」「省エネ・省資源への取組み」「環境面での支援・社会貢献への取組み」を掲げている。この方針の下、生物多様性保全に向けた取組みを推進していく。

1. 事業活動を通じた地球環境保護

a. 気候変動への対応

TCFD 提言へ賛同し、TCFD 提言へ賛同する企業や金融機関等が一体となって取組を推進し、企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組について議論する場として設立された「TCFD コンソーシアム」にも加入している。

b. 環境課題の解決へ向けた投融資の取組み



「グリーンボンドへの投資」「国内太陽光発電プロジェクトファイナンス」等、環境課題の解決を目的とした債券等への投融資を行っている。

持続可能な社会の実現への貢献を目指し、2019年度にESG投融資方針を策定し、国連責任投資原則（PRI）に署名している。

2. 省エネ・省資源への取組み

a. 事業活動を通じた取組み



当社事業活動において環境負荷の大きい紙使用量の削減および電気使用量の削減について、各所属が主体となっており、積極的に取り組んでいる。

なお、2019年度から新契約手続きの電子化を開始しており、今後更なる紙使用量の削減が見込まれる。

b. 印刷物への環境配慮



森林をはじめとする陸上資源の保護を目指して、お客さま向けカレンダーや商品パンフレット、社内向け教材等あらゆる印刷物に対し、再生紙・

植物油インキを使用するなど、環境にやさしい取組みを行っている。当社独自の環境シンボルマークを制定し、環境に配慮した印刷物に記載するなど、職員の環境意識を高めながら、全社的な取組みを行っている。

3. 環境面での支援・社会貢献への取組み

a. 職員ボランティア「スマセイ・ヒューマニー活動」



1992年からスタートした職員参加型のボランティア活動で、毎年全ての所属の職員が、環境保全等をテーマとした活動に取り組んでいる。全国各地で緑地保全活動や河川・海岸の清掃活動等を行っている。

b. サンゴ礁保全プロジェクト



サンゴ礁の保全と持続可能な地域づくりのために、2008年から公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）の南西諸島のサンゴ礁生態系保全活動を支援している。

c. スミセイの森 宮城



宮城県と「わたしたちの森づくり事業実施協定」と締結し、2012年から職員やその家族が参加する広葉樹苗の植栽や自然観察会などを行っている。